

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う授業形態の変更等について (2022年1月24日)

学長 岩崎 恭典

《授業形態等の変更》

四日市大学は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、1月24日（月）と1月25日（火）の2日間の授業形態をオンライン授業に切り替えます。

これは、学生の中に複数の感染者・濃厚接触者が発生したことに伴うものです。
なお、変更に関わらない授業については休講とし、1月28日（金）までの期間にて、補講を実施します。担当先生・教学課からの連絡に注意してください。

《欠席の取り扱い》

新型コロナウイルス感染症（発症、濃厚接触）に伴う欠席は、公認欠席（公欠）扱いとなります。

《後学期定期試験について》

後学期定期試験については実施予定ですが、感染状況等を踏まえ、実施の可否、変更等については、随時お知らせします。

なお、実施した際に欠席せざるを得ない場合（レポート未提出等を含む）は、規程にしたがい追試験となります。

追試験を受験できなかった場合の取り扱いについては、検討中です。

試験方法については、定期試験の案内あるいはシラバスに予告されていた方法から変更になる場合があります。担当先生・教学課からの連絡に注意してください。

以上